

【参考資料】大気環境学会中部支部講演会等演題・講師一覧

年度	開催県	開催地	会場	開催年月日	演題	講師	備考
S59 (1984)	愛知県	名古屋市	愛知厚生年金会館	1984. 9. 26	近畿支部のあゆみ	渡辺弘(兵庫県立公害研)	設立記念講演会
	愛知県	名古屋市	愛知県中小企業センター	1985. 3. 14	1)南極成層圏におけるエアゾルの挙動 -南極におけるレーダー観測- 2)最近のエアロゾル研究の動向 3)硫黄の循環と人間生活	1)岩坂泰信(名古屋大水圏研) 2)角脇 裕(愛知県公害調査センター) 3)中井信之(名古屋大)	
S60 (1985)	岐阜県	岐阜市	日の丸会館	1985. 9. 20	1)集積回路等先端産業における環境上の諸問題 2)測定値の地域代表性-一般環境測定局配置の考え方-	1)山口 裕(昭和大) 2)吉田克己(三重大)	
	愛知県	名古屋市	愛知県中小企業センター	1986. 3. 6	1)酸性物質の湿性沈着量 2)酸性雨研究の現状と今後の課題	1)藤田慎一(電力中央研) 2)玉置元則(兵庫県立公害研)	
S61 (1986)	愛知県	名古屋市	愛知県中小企業センター	1986. 9. 19	1)最近の悪臭測定・評価技術の動向 2)リモートセンシングと大気汚染	1)重田芳廣(日本環境衛生センター) 2)葉山幸雄(大阪府公害監視センター)	
	岐阜県	岐阜市	岐阜文化センター	1987. 2. 3	1)大気の毒性モニタリングについて 2)NO <sub>x</sub> の及ぼす健康影響について	1)黒田孝一(大阪市環境科学研) 2)吉田克己(三重大)	
S62 (1987)	愛知県	名古屋市	愛知県中小企業センター	1987. 10. 12	1)最近の大気環境と生物指標について 2)アスベスト粉じんに関する最近の話題	1)松島二良(三重大農) 2)木村菊二(労働科学研)	
	岐阜県	岐阜市	岐阜文化センター	1988. 2. 8	1)ハロカーボンの分布 2)簡易官能試験法を用いた悪臭評価について 3)局地風場における大気汚染の数値解析	1)奥野年秀(兵庫県立公害研) 2)高原康光(岐阜県公害研) 3)北田敏廣(豊橋技術科学大)	
S63 (1988)	愛知県	名古屋市	愛知県中小企業センター	1988. 10. 21	1)成層圏から対流圏へのオゾンの流入について 2)大気汚染とガンについて	1)佐藤公喜(愛知県公害調査センター) 2)松下秀鶴(国立公衆衛生院)	
	石川県	金沢市	石川県社会教育センター	1989. 2. 23	1)先端技術産業と健康への影響 2)地方公害試験研究機関の役割について 3)石川県におけるPM <sub>10</sub> 計測による道路粉じんの現状	1)及川紀久雄(新潟薬科大) 2)石田宗治(石川県衛生公害研) 3)桐元俊武(石川県衛生公害研)	
H1 (1989)	岐阜県	岐阜市	岐山会館	1989. 9. 5	1)労働衛生の動向について 2)酸性雨と環境汚染のかかわり 3)ごみ処理と変異原性	1)吉川 博(日本バイオテックセンター) 2)早川友邦(岐阜県公害研) 3)神谷明男(名古屋市公害研)	水質汚濁研究会 中部支部との 合同講演会
H2 (1990)	静岡県	静岡市	静岡県立大学講堂	1990. 9. 22	1)発癌物質と大気汚染-特に先端産業排ガス- 2)窒素酸化物とマクロファージの分化 -発癌物質の検出方への応用- 3)静岡県における酸性雨ならびに光化学オキシダントの現状 4)酸性雨と植生 5)大気フロン-現状と対策-	1)松本義幸(環境庁大気保全局) 2)高木邦明(静岡県立大薬) 3)久米一成(静岡県衛生環境センター) 4)松島二良(三重大農名誉教授) 5)富永 健(東京大)	
H3 (1991)	石川県	金沢市	石川県職員会館	1991. 11. 21	1)富山県におけるエアロゾルについて 2)地球規模大気汚染とその視点 3)大気汚染とその植物影響	1)鳥山成一(富山県公害センター) 2)玉置元則(兵庫県立公害センター) 3)伊豆田猛(東京農工大)	
H4 (1992)	石川県	金沢市	石川県保健環境センター	1993. 3. 18	1)酸性雨による土壌の酸性化機構について 2)酸性雨の農作物及び森林樹木への影響	1)丁子哲治(富山工業高専) 2)野内 勇(農水省農業環境技術研)	
H5 (1993)	愛知県	名古屋市	愛知県公害調査センター	1993. 11. 18	1)変異原性エアロゾルの分析法開発と大気内動態解析 2)大気浮遊粒子状物質の変異原性と変異原物質	1)早川和一(金沢大薬) 2)久松由東(国立公衆衛生院)	
H6 (1994)	静岡県	静岡市	静岡県衛生環境センター	1995. 3. 6	悪臭の測定と規制に関する最近の動向	岩崎好陽(東京都環境科学研)	
H7 (1995)	静岡県	静岡市	静岡県女性総合センター【アザレア】	1995. 12. 8	【有害大気汚染物質対策をめぐる諸問題】 1)中部地区における有害大気汚染物質実態把握の現状 1-1)大気中の粒子状PAHsに関する研究の現状と課題 1-2)長野県における有害大気汚染物質実態把握の現状 1-3)静岡県における有害大気汚染物質実態把握の現状 2)有害大気汚染物質の測定法の現状と今後の課題 3)有害大気汚染物質対策の新たな展開	1-1)角脇 裕(愛知県環境調査センター) 1-2)笹井春雄(長野県衛生公害研) 1-3)浅川真雄(静岡県衛生環境センター) 2)早川和一(金沢大自然科学) 3)柳下正治(環境庁大気保全局)	
H8 (1996)	静岡県	静岡市	静岡県女性総合センター【アザレア】	1997. 2. 14	【環境国際協力における地方の役割 -大気環境保全に係る国際協力を中心に-】 1)環境国際協力の過去、現在そして未来 2)環境国際協力推進に関する活動について 2-1)発展途上国大気保全技術者の人材育成の現状 -ICETT(財)国際環境技術移転研究センターにおける事例- 2-2)技術移転のための海外研修生受入について 2-3)海外における技術移転の現状について 2-4)地方自治体独自の環境国際協力とその問題点 -石川県における事例を中心として-	1)松下秀鶴(静岡県立大院) 2-1)加藤 進(ICETT) 2-2)神谷明男(名古屋市環境科学研) 2-3)久米一成(静岡県衛生環境センター) 2-4)北村守次(石川県保健環境センター)	
H9 (1997)	富山県	富山市	安田生命ホール	1998. 2. 13	1)臨床環境医学からみた温泉・気候療法 2)酸性雪と奇形結晶	1)阿岸祐幸(北海道大名誉教授) 2)野馬勝年(富山大)	
H10 (1998)	富山県	富山市	富山県女性総合センター【サンフォルテ】	1998. 11. 13	1)ゴミ問題から考えるダイオキシン対策 -安心して見ておられるゴミ処理施設を目指して- 2)母子保健の立場から見たダイオキシン対策	1)西村 潔(南砺リサイクルセンター) 2)多田 裕(東邦大)	
H11 (1999)	富山県	富山市	安田生命ホール	1999. 11. 20	1)樹木年輪からみた過去の環境 2)自然環境と健康と快適性	1)加藤輝隆(富山医科薬科大) 2)宮崎良文(森林総合研)	
H12 (2000)	三重県	四日市市	四日市農協会館	2000. 11. 11	1)21世紀の東アジアの大気環境問題の展望と日本の役割 2)大気環境問題とリスクコミュニケーション	1)朴 恵淑(三重大人文) 2)内山巖雄(国立公衆衛生院)	
H13 (2001)	愛知県	名古屋市	名城会館	2001. 12. 1	1)中部山岳における大気環境の変化とその影響 2)数値シミュレーションによる三宅島火山性ガスの広域拡散	1)石坂 隆(名大地球水循環研センター) 2)茅野政道(日本原子力研東海研)	
H14 (2002)	石川県	金沢市	石川県職員会館	2002. 11. 30	1)表層土壌中のエアロゾルは大気汚染を反映しているか? 2)一般発表8題	1)平山晃久(京都薬科大)	
	愛知県	名古屋市	名古屋大循環研究センター	2002. 7. 26	ヒートアイランド現象の実態と予測評価	梅干野晃(東京工業大院総理工)	
H15 (2003)	愛知県	名古屋市	名古屋大環境総合館	2003. 11. 29	一般発表10題		
	愛知県	名古屋市	愛知県環境調査センター	2004. 6. 12	施設見学会(愛知県環境調査センター)		
H16 (2004)	石川県	金沢市	公立学校共済会六華苑	2004. 11. 27	1)東アジアの黄砂をめぐる最近の話題 2)一般発表8題	1)岩坂泰信(名古屋大院環境学)	
H17 (2005)	長野県	長野市	教職員共済ホテル信濃路	2005. 11. 26	1)X線を用いる大気中粒子状物質の分析 2)一般発表10題	1)岩附正明(山梨大学名誉教授)	
	愛知県	名古屋市	名古屋港ポートビル	2006. 1. 26	1)アスベスト問題の経緯と今後の対応 2)アスベストの健康被害 3)アスベストの測定法 4)愛知県のアスベスト対策	1)松井佳巳(環境省水・大気環境局) 2)内山巖雄(京都大学大学院) 3)朝来野国彦(株環境管理センター) 4)伊藤勝至(愛知県環境部)	アスベスト公開 講座中部地区
H18 (2006)	愛知県	名古屋市	桜華会館	2006. 11. 11	1)地球温暖化問題と低炭素社会に向けて 2)一般発表6題	1)松岡謙(京都大学大学院地球環境学)	
	愛知県	名古屋市	桜華会館	2007. 7. 7	大気汚染の健康影響に関する疫学的研究、現状と課題	中川武夫(中京大学体育学部)	
H19 (2007)	愛知県	名古屋市	桜華会館	2007. 11. 17	1)都市の温暖化と都市の自然を活かした暑さ対策 2)一般発表3題	1)一ノ瀬俊明(国立環境研究所)	
	愛知県	名古屋市	桜華会館	2008. 7. 5	大都市のヒートアイランド	北田敏廣(豊橋技術科学大学)	
H20 (2008)	富山県	富山市	富山県民会館	2008. 11. 30	1)東アジアにおける広域大気汚染と日本への影響 2)一般発表7題	1)大原利真(国立環境研究所)	
	石川県	金沢市	石川県保健環境センター	2009. 7. 21	1)東アジアから日本にやってくる光化学大気汚染について 2)「ネパール測候所(標高5100m)における3年間の連続モニタリング:ヒマラヤ山岳地域における大気エアロゾルの放射強制力	1)坂東博(大阪府立大学大学院) 2)Paolo Laj(フランス国立科学研究センター)	
H21 (2009)	石川県	金沢市	金沢勤労者プラザ	2009. 12. 12	1)1970年代からの大気環境について 2)一般発表4題	1)嵐谷奎一(産業医科大学)	
H22 (2010)	岐阜県	岐阜市	じゅうろくプラザ	2010. 11. 27	1)黄砂の沈着について 2)一般発表6題	1)長田和雄(名古屋大学大学院環境科学研究科)	
H23 (2011)	愛知県	名古屋市	ウインクあいち	2011. 11. 22	1)粒子状物質の成分組成が健康に及ぼす影響:疫学研究から何が分かる? 2)一般発表7題	1)上田佳代(国立環境研究所環境研究健康センター)	
H24 (2012)	新潟県	新潟市	NICOプラザ	2012. 12. 15	1)バイオマスエネルギーの形態別将来動向と利用事例 2)一般発表3題	1)金照藩(新潟大学)	
H25 (2013)	岐阜県	岐阜市	じゅうろくプラザ	2014. 1. 11	1)放射性物質の環境影響と大気拡散予測 2)一般発表3題	1)山澤弘実(名古屋大学大学院)	
H26 (2014)	新潟県	新潟市	新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」	2015. 1. 31	1)日本のバックグラウンド地域でみた中国北部都市の大気汚染の変遷 2)残留性有機汚染物質を巡る国際・国内動向と日本海周辺における存在実態 3)放射線核種を用いた日本海域における大気-海洋間の物質動態研究 4)新潟県における越境大気汚染による微小粒子状物質(PM <sub>2.5</sub> )濃度の現状	1)早川 和一(金沢大学) 2)高澤 嘉一(国立環境研究所) 3)長尾 誠也(金沢大学) 4)猪股 弥生(アジア大気汚染研究センター) 5)木戸 瑞佳(富山県環境科学センター)	公開シンポジウムとして環境省 環境研究総合推 進費早川班と共 催
H27 (2015)	石川県	金沢市	石川県政記念 しいのき迎賓館	2016. 1. 24	1)能登半島における過去10年間の越境大気汚染物質の観測 2)PM <sub>2.5</sub> と化学反応 3)大気汚染と健康-PM <sub>2.5</sub> を中心に- 4)富山県における地上及び上空大気中の過酸化水素の動態-北陸山岳域における硫酸エアロゾル生成量評価-	1)唐 寧(金沢大学) 2)亀田貴之(京都大学) 3)島 正之(兵庫医科大学) 4)渡辺幸一(富山県立大学)	公開シンポジウムとして環境省 環境研究総合推 進費早川班と共 催